

# 第3学年保健体育科学習指導案

## 1. 単元名

現代的なリズムのダンス ～発想からつながる学びとスキル～

## 2. 単元の目標

### (1) 保健体育科としての目標

- いろいろな動きにチャレンジして踊ること・表現することを楽しむ
- 仲間と協力して練習計画を立て活動し、作品を作り発表する
- 作品として組み立てるためのコミュニケーションのとり方を工夫する

### (2) 汎用的スキル

- 音楽や映像、身体活動などから感じとったことを動きとして表現したり、観ることによって表現の仕方を工夫したり、さらに新しい価値を生み出したりすることができる。(感性・表現・創造力)

### (3) 態度・価値

- 自分の役割を果たそうと責任感をもって行動し、グループで作品をつくり上げようと協力して計画的に進めることができる。(協力しあう心)

## 3. 生徒の実態

本単元を行う3年生は、本校の体育においてダンスの授業を行うことは初めてであり、「現代的なリズムのダンス」を経験したことがある生徒は、約6%と少ない。事前に行ったアンケート調査では、自らダンスを踊ることに対してはやや消極的な傾向がみられたが、ダンスそのものには好意的であり身近なものにとらえていることや、多くの生徒が踊るスキルを身に付けたいと思っていることが判明した。さらに、映像編集に対する興味関心があることもうかがえた。

今回の現代的なリズムのダンス授業では、生徒に自分達が授業を作り展開しているという意識をもたせ発見と探求の姿勢を促すとともに、教師も生徒の成長を観察し、その段階に適した問いを投げかけていくといった、双方向の探求型授業を進めていきたいと考えた。そこで、踊ることに関しては消極的だが映像編集に興味関心があると判明した生徒の実態を鑑み、iPadやビデオカメラ、スマートフォンなどの映像機器を活用させ、グループでダンスの魅せ方を考える活動とダンス作品作成・発表・観賞、ミュージックビデオ作品を作成・発表・観賞と繰り返し学習することで、「踊る」から「魅せる」表現を探究させる学習過程を設定している。

## 4. 単元について

### ①教科から見た特性

現代的なリズムのダンス授業では、生徒にダンスの特性を伝え、個人的技能や集団的技能を習得させ、リズムにあわせてダンスが出来るようにさせるなど、ダンスの動きに関するスキルを向上させることを目標としている。さらに今回行うダンス授業では、映像作品として発表することで、生徒がダンスの動きをどのようにとらえているか、なぜその動きをしたのかなどを、できあがった作品から説明させ、学びを深めさせていくことも目標としている。

また、動きや構成を作品として組み立てるにはどのようなコミュニケーションが必要か、みんなでダンスを楽しむためにはどのような要素が必要かなど、ダンス授業全般を通して生徒へ問いかけていく中で生徒を総合的に指導していくこととする。

### ②汎用性スキルや態度・価値育成の観点からみた特性

ダンス経験者がほとんどいないという生徒の実態を踏まえ、不慣れな状況にもじっくりと考え勇気をもって前向きに臨み、新しい役割を探る自立した精神をもつ機会にさせたいと考えている。知らないことを詳しく知りたいと思う気持ち、解決したいことを見つけようとする姿勢などの好奇心・探求心をはじめ、自分の考えを伝える力を伸ばせると考えている。また、他者とのコミュニケーションを工夫することや、責任感を持って自己の役割を果たそうとすることなどのスキルも関連するであろう。初めて取り組むダンスでも、簡単なことから挑戦させていくことで、音楽やリズムにのり、感じ取ったことを表現したり、動きや作品を作りながら新しいものを生み出していく力も育成していけると考えている。

## 5. 単元計画と資質・能力を育成する主な手立て（全10時間 本時10/10時間）

|  | 学習活動 | 関連する資質・能力 | 資質・能力を育成する主な手立て |
|--|------|-----------|-----------------|
|  |      |           |                 |

|              |                                                                                                                                                                   |                                           |                                                                        |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 第1次<br>(2時間) | ○問い「リズムにのるとは」「発表の仕方、伝え方はどのようにすべきか」に対し、活動の中で発見したこと学習したことを表現する。<br>・簡単な動きをリズムで変化させ、クラスのウォーミングアップダンスを作成する。                                                           | ○好奇心・探求心<br>○伝える力                         | ○解決したい、よりよくしたいという場の設定。<br>○事前知識を持たせる                                   |
| 第2次<br>(8時間) | ○発表・表現することや他グループ作品を観ることを繰り返し、効果的なパフォーマンスを考える。<br>①グループでダンス作品作りと発表<br>②ミュージックビデオ作品作りと発表<br>③クラス全体で合同ダンス作品作り<br>・役割確認・グループに合う練習方法を考え計画を立てる。<br>・毎時間の問いに対し、深く考え活動する。 | ○感性・表現・創造の力<br>○他者に対する需要・共感・敬意<br>○協力しあう心 | ○他者との学び合いの設定<br>○考えや情報を用い、創造するために、ICT機器を用いる<br>○学びのサポートと延長を通して生徒に問いを促す |

## 6. 本時の学習指導

### (1) 本時のねらい

動きを工夫して組み合わせ、違いを楽しみ、お互いを認め合って大人数で踊る。

### (2) 本時の展開

| 時間        | ○学習活動 ●予想される生徒の反応                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 指導上の留意点 ◇資質・能力を育成する主な手立て ◆評価                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>7分  | ○集合 あいさつ 出欠確認 安全確認(用具)<br>○本時の説明を聞き、本時のテーマ、学習内容を確認する。<br>●これまでの学習を振り返り、同じ課題曲であることから合同ダンスができると気付く。<br>●問いやヒント例から、合同ダンスにするための方法とは、ポジショニング変化や統一するためのアレンジであると気付く。<br>○ウォーミングアップダンスを行う。                                                                                                                 | ・生徒の健康状態を確認する<br>◇これまでの学習で発見したことや習得したことは何かを振り返らせ、また、グループ同士で動きをつなげるためのヒントを例として提示し、大人数で踊るための方法を発見させやすくする。本時の課題にどう活かせるか問う。(感性・表現・創造の力)<br>・大きな動きで楽しくアップするよう促す。                                                                                                                 |
| 展開<br>38分 | ○グループダンスを踊る(確認)<br>本時の問い「グループの良さを生かした作品にするにはどのような工夫が必要か」を考え活動する。<br>●各係を率先して担う(振り付け係とリーダーがリードして練習を進める。タイムキーパーは時間管理。音響係が音出し。)<br>○構成係は集合して協議<br>・構成係は全体移動の仕方や配置を決定<br>○全員集合。構成係からの説明を聞く。構成係のキュー出しでその場での合わせ練習。<br>●移動時間(リズム数)と距離がひとりひとり違うことに気付き、全員でどうそろえるか議論する<br>○カウントによる移動練習<br>○配置につき全体で合同ダンス(撮影) | ◆役割を責任持って果たしているか。<br>・グループ練習課題を確認し必要に応じて助言する。<br>◇構成係に「全員が短時間で理解でき踊れるものにするための工夫は」と問う。(他者に対する需要・共感・敬意)<br>◇全員に「目標を達成するためのコミュニケーションの手段とはどのようなものか」問う。(協力しあう心)<br>◆他者に対する需要・共感・敬意を示す姿勢・態度で取り組んでいるか<br>・グループ合同タイムで全員が理解できているか確認させる。<br>・正面やサイドから撮影する(固定カメラ)<br>◆リズムにのって大きく動いているか |
| 結末<br>5分  | ○グループで振り返りを行う。<br>・映像を見て、気づきをまとめる。<br>○リーダーが振り返りを全体に発表する。<br>●ダンス作品を作るには、振りを踊ることだけでなく、様々な要素が必要であるなど感じたことを述べる。<br>○学習ノート配布 片付け あいさつ 解散                                                                                                                                                              | ◇本時の問いの確認(感性・表現・創造の力)<br>◆本時の課題についての取り組みや、単元学習全体を通して身に付けたスキルや態度などを振り返り、学習ノートに記入して期限内に提出する。                                                                                                                                                                                  |

●記録映像 有。(授業全体を撮影したもの1つ。ダンス映像作品多数。)